

麻 酔 科

はじめに

広島大学病院のような先進的で高度な手術が主な病院と異なり、広島総合病院では豊富な一般症例がある。よって、基本的な麻酔管理について理解してもらう上ではよい選択枝になると考えている。すでにご存知のように、麻酔科では、他の診療科とやや異なり、周術期（術前、手術中、術後）患者の生命維持に必要な呼吸・循環維持する全身管理を行っている。”管理”というと、モノを扱うように思いがちである。精神面も含めて患者さんを”全人的に把握して管理”することが現在では求められており、当院でもわれわれ麻酔科医は日々実践している。そのために、生理学（とくに呼吸、循環、代謝、神経）、薬理学、解剖学などの基礎医学的知識を手術室や重症病棟の臨床現場に応用する臨床科である。実習を通じてこれらを理解する。さらに医療現場での急性期医療が特定診療科のみで完結するのではなく、コメディカルも含めた複数の診療科によるチーム医療であることを理解し、そのキーとなるコミュニケーションスキルも高める。

【一般目標】

- 1) **Student Doctor** として、単なる見学者ではなく、医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識と技能を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 術前診察の重要性と麻酔計画の立案のしかたを理解する。
- 2) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。

J A 広島総合病院

- 3) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族からの問診と身体診察等から、周術期管理に必要な情報を収集し、重要度順に把握、整理できる。
- 4) 手術内容と患者の身体的状態から麻酔計画の立案に参画する。
- 5) 全身麻酔の成立に必要な要素を理解する。硬膜外麻酔と脊髄くも膜下麻酔、伝達麻酔の長所欠点を理解する。
- 6) 生体監視モニターの重要性および循環、呼吸、脳波、体温、尿など、個々の生体情報を理解し、その臨床的解釈と対処法を実践から学ぶ。
- 7) 基本手技（静脈路確保、気道管理、マスク換気、気管挿管、ラリンゲルマスクなど気道管理の具体的手技、周術期の人工呼吸器の使用）について理解・実習する。
- 8) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について理解する。
- 9) 屋根瓦式で学生（**Student Doctor**）、初期研修医、担当医、指導医と診療にあたることができる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。大学のネームプレート名札を付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。当院手術室ではスクラブに更衣し、大学名札以外に部外者用緑色ストラップ名札も使用する。一足制であるため。靴はそのままでも履き替えても良い。貴重品、財布はロッカールームに置かないこと。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず下記の緊急連絡先に連絡すること。

緊急連絡先 麻酔科 中尾正和 PHS 直 070-6692-8591、古賀知道 070-6692-8642
広島総合病院教育研修課 0829-36-3111(代表)

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中 8:30 麻酔科外来に集合。カンファランス時にオリエンテーションする。
- 2) 症例ごとに、担当指導医を割り当てる。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐

J A 広島総合病院

一指導医と相談し、指示を仰ぐこと。

- 3) 担当症例を朝の症例カンファレンスで、簡潔にまとめて発表できるよう事前に準備しておくこと。

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	朝、症例カンファレンス リエンテーション (第1週) 手術室での麻酔科管理	主任部長ほか スタッフ	麻酔科外来カンファレンス室(外来棟1F) 手術室	8:15-16:15
火	朝、症例カンファレンス 術前診察 手術室での麻酔科管理	主任部長ほか スタッフ	麻酔科外来カンファレンス室(外来棟1F) 手術室	8:15-16:15
水	朝、症例カンファレンス 手術室での麻酔科管理	主任部長ほか スタッフ	麻酔科外来カンファレンス室(外来棟1F) 手術室	8:15-16:15
木	朝、症例カンファレンス 手術室での麻酔科管理	主任部長ほか スタッフ	麻酔科外来カンファレンス室(外来棟1F) 手術室	8:15-16:15
金	朝、症例カンファレンス 手術室での麻酔科管理 試問 (第4週)	主任部長ほか スタッフ	麻酔科外来カンファレンス室(外来棟1F) 手術室	8:15-16:15

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
カンファレンスでのプレゼンテーション	20点
学生用レポートの内容	30点
部長試問	20点

【実習指導医】

中尾正和 (麻酔科) 副院長、麻酔科主任部長 PHS 5200

広島大学臨床教授、麻酔科学会指導医、医学博士

J A 広島総合病院

古賀知道（麻酔科）救急麻酔科主任部長 PHS 5713

麻酔科学会指導医、医学博士

本多亮子（麻酔科）麻酔科部長

麻酔科学会指導医

村上俊介（麻酔科）麻酔科副部長

麻酔科学会認定医

梅田絢子（麻酔科）麻酔科副部長

麻酔科学会専門医

河本佐誉子（麻酔科）麻酔科副部長

麻酔科学会認定医

佐々木幹子（麻酔科）

麻酔科学会認定医

佐藤浩毅（麻酔科）

麻酔科学会認定医（申請中）

【参考図書、文献】

- ミラー麻酔科学: 2007 麻酔科のバイブル的教科書の日本語訳(辞書的利用でよい)
Kindle 版もあり
- 標準麻酔科学: 2011 日本語の麻酔科の教科書。
- STEP 麻酔科: 2012 医学生のときから買っているひともいるかも。
- 周術期管理チームテキスト第 3 版:2016 麻酔科学会, コメディカルも対象とした本。
- やさしくわかる! 麻酔科研修: 2015 秀潤社 研修中にも通して読める Vol.
- 若い医師のための麻酔科学: 2014 ベクトル・コア Kindle 版あり
- 麻酔への知的アプローチ: 2015 日本医事新報社
- 日本麻酔科学会ホームページ(麻酔のしおり) トップページ > 一般の皆様 > 麻酔をうけられる方へ <http://www.anesth.or.jp/public/anesthesia/>
- Miller's Anesthesia: 8ed : 2014 麻酔科領域の英文標準教科書